



宿題たしかめ表

11月18日~12月1日

お家の人のサイン	今週の宿題	
	1	音読 P63~P79
	2	漢字学習ノート P26~P31
	3	漢字書きテストの練習⑳
	4	漢字読みテストの練習㉑
	5	宿題プリント4枚
	6	単元プリント3枚
	7	「プラタナスの木」の紹介文。→タイプして提出
	8	新出漢字㉒㉓ (失辺低敗老東票陸)
	9	クロスワードことわざ慣用句㉔
	10	短作文「今週の慣用句㉕」
	11	11月の一言日記を終える。→SEESAWへ提出
	12	12月の一言日記を始める。
	13	12月の折り紙カレンダーを作成する。
	14	ウェブサイトを見て「WAになっておどろう」を歌う。
	15	毎日の出来事を家の人と日本語で話し合う。

梓組のみなさんへ、
 来週の11月25日は、日本語教室がお休みになります。
 宿題は2週間分で、音読カードも2枚あります。
少しでも、必ず毎日読むようにしましょう。
 12月のカレンダー・紹介文は早めに取りかかりましょう。

西池 先生



音読カード きのうちより上手に読めたかな

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだところ		(プラタナスの木・感動を言葉に)						
よ む め あ て		金	土	日	月	火	水	木
① しせい正しく								
② 大きな声ではっきりと								
③ 句読点で区切ってゆっくりと								
④ 正しくまちがえないで								
⑤ 内容がわかる								
お 家 の 人 の サ イ ン								



音読カード きのうちより上手に読めたかな

よくできた ◎ できた ○ もうすこし △

読んだところ		(プラタナスの木・感動を言葉に)						
よ む め あ て		金	土	日	月	火	水	木
① しせい正しく								
② 大きな声ではっきりと								
③ 句読点で区切ってゆっくりと								
④ 正しくまちがえないで								
⑤ 内容がわかる								
お 家 の 人 の サ イ ン								



漢字書きテスト練習

22

梓組

① ほうかごに友達と遊ぶ。

② どうぜん参加するつもりだ。

③ 朝の光をあびる。

④ あさがおのめが出る。

⑤ 段落だんらくごとにかいぎょうする。

⑥ きょうつうてんを調べる。

⑦ むしよくとうめいなガラス。

⑧ 夜空にりゅうせいを見る。

⑨ 母からのでんごんを聞く。

⑩ 長年のがんぼうがかなう。

願望	伝言	流星	無色	共通点	改行	芽	浴びる	当然	放課後

漢字読みテスト練習

21

梓組

* 漢字の読みの練習をしましょう。正しく読めたかどうかたしかめながら、何度も読んでみましょう。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
台風におそわれる。	祖父母の家。	夏休みの半ば。	池の周りを歩く。	心に残る出来事。	正月に帰省する。	大きな声で笑う。	有利な立場。	試合が白熱する。	立ち入り禁止。
⑳	⑑	⑒	⑓	⑔	⑕	⑖	⑗	⑘	⑙
公園の異変。	新学期が始まる。	大きな根っこ。	青く晴れ上がった空。	森を守る。	鳥が鳴き始める。	海外旅行。	水分や養分を送る。	おじいさんの不思議な言葉。	今年いちばんの大雨。

1 の漢字の読みがなを書きましょう。

- (1) 大きな台風。 (2) 今年の初め。 (3) 放課後の時間。
- (4) 当然の結果。 (5) 日を浴びる。 (6) 芽が出る。
- (7) 改行をする。 (8) 冬至のころ。

2 の漢字の読みがなが、他とちがうものをア～エから選んで、記号で答えましょう。

- (1) ア 台所 イ 土台 ウ 台本 エ 屋台
- (2) ア 自然 イ 天然 ウ 平然 エ 同然

3 次の漢字の総画数を、数字で書きましょう。

- (1) 課 () 画 (2) 改 () 画

4 () に当てはまる言葉をア～エから選んで、記号で答えましょう。

- (1) 兄は、ひさしぶりに図書館にすがたを ()。
- (2) 種をまいた朝顔が、ようやく芽を ()。
- (3) 真夏の今日、あたりにせみの声が ()。
- (4) 頭のいたみがわたしを () が、幸いすぐおさまった。
- ア 出した イ 満ちた ウ おそった エ 見せた

◆ 読みがなを書きましよう。

- ① 禁^{きん}止^しする
- ② 白^{はく}熱^{ねつ}した試合。
- ③ 有^{ゆう}利^りになる。
- ④ 友^{とも}達^だが笑^{わら}う。
- ⑤ 帰^{かえ}省^{しょう}する
- ⑥ 心^{こころ}に残^{のこ}る。
- ⑦ 八^{はち}月^{げつ}の半^{はん}ば。
- ⑧ 祖^そ父^ふ母^ぼの家。
- ⑨ 家^{いへ}の周^{しゅう}り。
- ⑩ 強^{つよ}い台^{たい}風^{ふう}。
-
- ⑪ 今^{こん}年^{ねん}の冬^{ふゆ}。
- ⑫ 放^{はな}課^か後^ご
- ⑬ 当^{たう}然^{ぜん}のこと。
- ⑭ 日^ひを浴^{よく}びる。
- ⑮ 芽^めを出^だす。
- ⑯ 省^{しょう}略^{りやく}する
- ⑰ 説^{せつ}明^{めい}を省^{しょう}く。
- ⑱ 天^{てん}然^{ぜん}水^{すい}
- ⑲ 残^{ざん}金^{きん}を数^{かず}え^る。
- ⑳ 入^い浴^{よく}する

⑤ 漢字の形

少+目

省

組み合わせておぼえよう。



⑬⑥ 漢字 まちがえやすい

然 残



どちらも、右上の「、」をわすれないでね。

⑫ 形がにている漢字

課 課題

果 結果

1 次の言葉の意味を下から選んで、記号を書きましよう。

① 異変いへん

()

ア してはいけないと、とめること。

② 禁止きんし

()

イ あることを始める手がかりとなるもの。
ウ リえきをえるのに、都合がいい様子。

③ 有利

()

エ ふつうではないへんか。かわった出来事。
オ もともとそうあるべきすがたになっている様子。

④ 養分

()

カ 生き物が育つのに必要な、

⑤ きっかけ

()

キ えいようとなるもの。



2 () にあう言葉を から選んで、文にあう形に直して書きましよう。

① 森が台風たいふうに

()

レ、多くの木が折れた。

② 兄がこしこしを

()

テ、ごみを拾った。



③ よい方法を

()

タので、全員に話した。

④ 森の中は、美しい鳥の声で

()

テていた。

⑤ 試合は、後半になると、だんだん

()

テきた。

おそう・生える・満ちる・思いつく・かがめる・白熱する

1 漢字を書きましよう。

① め 生える

② き 帰

③ はつが する

④ しょう 略する

⑤ てん 天

⑥ ざんきん 水

は千元。

⑦ り 点が多い。

⑧ きん 禁

⑨ とうぜん すること。

⑩ はく 熱の試合。

⑪ にゆう 入

⑫ ほうか 後の教室。

⑬ たい 風の季節。

⑭ そ 祖

ふぼ に会う。



2 ——— の言葉を、漢字と送りがなで書きましよう。

① 妹がわらう。

② むだをはぶく。

③ 池のまわり。

④ 水をあびる。

⑤ 一人でのこる。

⑥ 孫をつれる。

プラタナスの木(1)

マーちゃんといつも遊んでいる仲間、高い花鳥君とハイソックスが好きなくニスケ。それに、アラマちゃんだ。本当は荒井さんというのだけれど、口ぐせが「あらま。」だから、いつのまにか、そうよばれるようになった。四年生になって、クラスは別々になったけれど、それまではずっと同じクラスで、家も近かったからいまだに仲良しだ。

マーちゃんたちが集まるところは川ぞいの公園で、バスケットコートぐらいの広さしかない。公園は、何も植えられていないかだんで囲まれていて、古い大きなプラタナスの木が一本だけ生えているので、プラタナス公園とよばれている。中学生や幼児連れの母親などはめったに来ないから、マーちゃんたちは、自分たちの遊びができた。水飲み場があるのも助かるけれど、何よりうれしいのは、この公園では、時間によってボール遊びができることだった。他の公園では、ボール遊びは禁止なのだ。

最近熱中しているのは、サッカー。リーダーはクニスケだ。クニスケは、サッカーをするときには、ハイソックスの中にすね当てを入れる。本格的なのだ。二人がゴールキーパーと守りになり、二人がドリブルやパスをしてせめる。かだんとかだんの間、に二メートルぐらいの空間があつて、そこがゴールだ。



上の文章を読んで答えましょう。

名前

(1) マーちゃんの遊び仲間を書きましよう。



(2) 荒井さんがアラマちゃんと呼ばれるのは、なぜですか。

(3) マーちゃんと仲間たちが、いまだに仲良しなわけを書きましよう。

(4) プラタナス公園について答えましよう。

① 広さはどのくらいですか。

② なぜ、プラタナス公園とよばれているのですか。

③ マーちゃんたちが、プラタナス公園を気に入っているいちばんのわけは、何ですか。

(5) マーちゃんたちが、プラタナス公園で最近熱中しているサッカーの遊び方について答えましよう。

① どんな方法で遊んでいますか。

② 何をゴールにしていますか。

プラタナスの木 (2)

そのうちに、マーちゃんたちとおじいさんはだんだん親しくなり、サッカーにつかれると、みんなプラタナスの木の下に集まって、おじいさんと話をするようになった。おじいさんが「みんな水をもつとたくさん飲んで、少し日かげに入って休まないで熱中症（しんじょう）になるよ。」と言ったのがきっかけだった。太陽の光が夏に向かつてずんずん強くなり、大きな葉のプラタナスの木の下が、とてもよい日かげになるのだ。



おじいさんの話はいつもおもしろかった。

ある日、おじいさんは不思議なことを言った。「このプラタナスの木が、さか立ちしているところを考えたことがあるかい。」

「あらま。木がさか立ち。」

アラマちゃんが、いつものようにおどろいた。

「そう。この木がさか立ちするだろう。」

木のみきや枝葉（えだ）と同じぐらいの大きさを根が出てくるんだよ。木というのは、上に生えている枝や葉をささえるために、土の中でそれと同じぐらい大きな根が広がって、水分や養分を送っているんだ。」

「どの木もみんなそうなんですか。」

今度は、花島君がマーちゃんの頭（かぶ）にきいた。

「たいていの木は、大きな根が地面の下にぎっしり広がっているのさ。」

⑤、このプラタナスの木が公園全体を守っている、といってもいいくらいだ。もし、地上のみきや枝葉がなくなったら、根は水分や養分を送れなくてこま（こ）ってしまうんだ。」

マーちゃんと花島君とクニスケは「ふうん。」と同じような声を出したが、アラマちゃんは

③ 「あらま。」と言った。

それにしても、木の根がこま（こ）ってしまったなんて、初めて聞く話だ。おじいさんの話を聞いていると、おじいさんは、公園のできるずっと前からプラタナスのことを知っているみたいだ。

名前

上の文章を読んで答えましょう。

(1) マーちゃんたちが、プラタナスの木の下に集まるようになったのは、なぜですか。

() のプラタナスの木の下が、
とてもよい () になるから。

(2) おじいさんが言った不思議な（ふしぎ）こととは、どんなことですか。

(3) おじいさんの話について答えましょう。

① プラタナスの木の根はどのくらい大きさを
と言っていますか。

② 大きな根は、どんな働き（はたらき）をしていると言っていますか。二つ答えましょう。

(4) こま（こ）ってしまう（こま）について答えましょう。

① 木のどの部分が、こまるのですか。 ()

② どうしてこまるのですか。 ()

地上の () や () がなくなったら、 () や () を送れないから。
⑤ おじいさんの話を聞いて、マーちゃんはどんなことを思いましたか。

(6) 文中の④⑤⑥にあてはまる言葉を () から選んで書きましょう。

③ () ()

④ () ()

⑤ () ()

しかし・すると
だから・やっぱり

プラタナスの木 (3)

夏休みに入るとすぐ、花鳥君とクニスケはお母さんのふるさとに帰省し、アラマちゃんも、家族と海外旅行に出かけてしまった。一人残ったマーちゃんがプラタナス公園に行くのと、いつものようにおじいさんがやって来て、ベンチにすわった。マーちゃんは自分ももうすぐお父さんのふるさとに行くので、夏休みが終わったら、またみんな来て来るから、と言った。「お父さんのふるさとには、木がいっぱいあるだろう。みんなによろしく。」



おじいさんは、㊸ 笑った。

夏休みも半ばというころ、マーちゃん

は、祖父母の家に行った。家の周りには森が広がっている。森にはいろいろな木や草が生え、鳥やせみの声が満ちていた。森と森の間には小川が流れ、小さな魚が、ときどき白いはらを見せてきらりと光った。マーちゃんは、この森の中で毎日走り回って遊んだ。

マーちゃんが祖父母の家に来て一週間ほどたったある日、大きな台風が森をおそった。森はおこったようにゆれ、小川は濁流となつてあばれた。鳥やせみも、どこかにすがたを消した。テレビは、今年いちばんの強い台風だと伝えている。早々とふんに入つたマーちゃんは、ゴーゴー鳴りひびく台風の音を聞きながら、プラタナス公園のおじいさんの顔を思い出かべた。最初ははつきりしていたおじいさんのえがおが、しだいに㊹㊺としていく。マーちゃんは、いっししか深いねむりに落ちていった。

一夜明けると、台風は通りすぎていた。青く晴れ上がった空の下で、あんなにゆれていた森は、今は静かに太陽の光を受けて㊻かがやいている。小川はまだ濁流のままだったけれど、鳥やせみはうれしそうに鳴き始めている。マーちゃんは、おじいさんの言葉を思い出した。森の一本一本の木の下には、それと同じくらい大きな根が広がっている。マーちゃんには、なぜか今、それがはつきりと見えるような気がする。だから、強い風がふいても木はかんたんにたおれたりしないし、森もくずれたりしないのだ。一本一本の木とその根が、ずっと昔から森全体を守り、祖父母の家だって守ってきたのだ。

上の文章を読んで答えましょう。

名前

(1) マーちゃんは、プラタナス公園でベンチにすわったおじいさんにどんな約束をしましたか。

(2) おじいさんが言ったみんなどは何のことですか。

(3) 夏休みの半ば、マーちゃんが行った祖父母の家の周りの森や川の様子を書きましよう。

川 森

(4) 台風のとときの森や川の様子が、生き物のようなたとえて書かれています。それぞれ四字でぬき書きましよう。

森

川

(5) はつきりと見えるような気がするとありますが、何がはつきり見えるような気がしたのですか。

(6) 森全体や祖父母の家を守ってきたのは何だと書いていますか。

(7) 文中の㊸㊹㊻にあてはまる言葉を□から選んで書きましよう。

㊸ ㊹ ㊻

ほんわか
ぴかぴか
ぼんやり
ふっくら
にっこり

部首
束

画

読み方

訓 音

部首
老

画

読み方

訓 音

部首
敗

画

読み方

訓 音

部首
低

画

読み方

訓 音

部首
辺

画

読み方

訓 音

部首
失

画

読み方

訓 音

Blank box for writing notes or examples for the character 束.

Blank box for writing notes or examples for the character 老.

Blank box for writing notes or examples for the character 敗.

Blank box for writing notes or examples for the character 低.

Blank box for writing notes or examples for the character 辺.

Blank box for writing notes or examples for the character 失.

名前

梓組 新出漢字 二十三

部首

画

読み方

訓 音

部首

陸

画

読み方

訓 音

部首

票

画

読み方

訓 音

Blank box for writing

名前

33

きせつや星のことわざ・慣用句

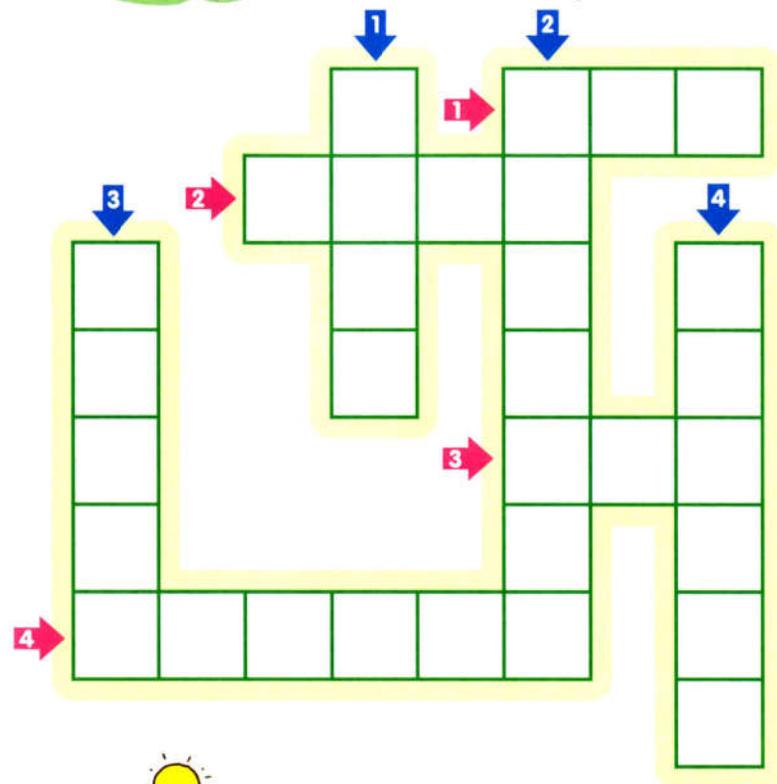
問題の答えを□に書こう。きせつや星にかん係ある言葉だよ。

たてのカギ

- 1 いきおいがさかんなことを「日の出の○○○○」という。
- 2 2つのものが、まったくちがっているということを「○○○○○○○○」という。同じように丸い形をした物にたとえているよ。
- 3 秋は天気がよく、馬がよく太る○○○○○だということを「天高く馬こゆる秋」という。「こうきおん」と「よいきこう」のどちら？
- 4 自分のきぼうどおりになって、まん足な時期のことを「○○○○○○」という。「わが世の春」と書くよ。

よこのカギ

- 1 秋は早くに日がくれて、すぐ暗くなるということを「秋の日は○○○落とし」という。「つるべ」と「おさら」のどちら？
- 2 うれしくて、心が○○○○○することを「天にもものぼる心地」という。「うきうき」と「がっかり」のどちら？
- 3 ひつようがないことを、月が出て明るい夜にちょうちんをつけることにたとえて「○○○にちょうちん」という。
- 4 とてもよろこんで、むちゅうになることを「○○○○○○○になる」という。「うちょうてん」と「さんかくけい」のどちら？



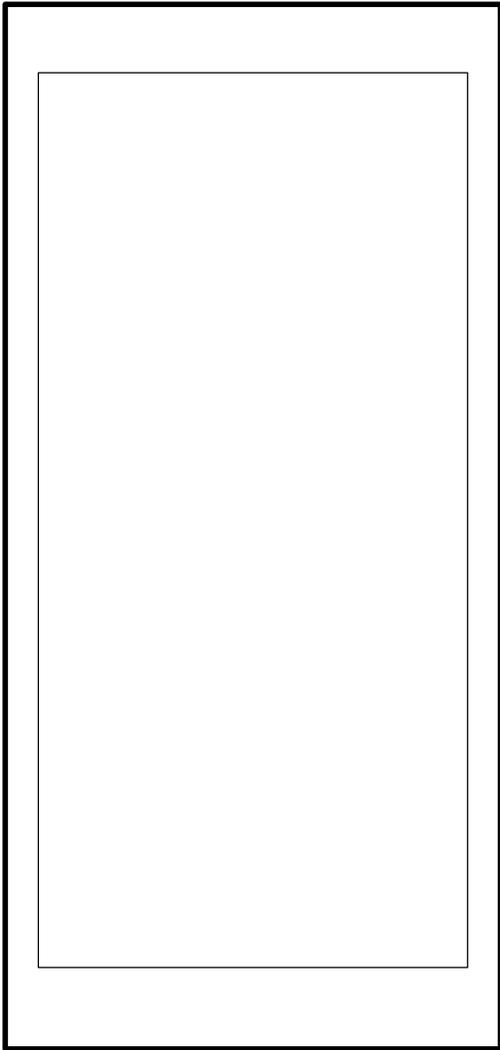
十二月の一言日記

十二月中の1か月をあとで振り返るため、毎日の記録をのこしておきましょう。

その日の出来事・心の中のこったことなどを短くまとめましょう。俳句でもいいですね。



12/16	12/15	12/14	12/13	12/12	12/11	12/10	12/9	12/8	12/7	12/6	12/5	12/4	12/3	12/2	12/1	日付
																一言日記
	12/31	12/30	12/29	12/28	12/27	12/26	12/25	12/24	12/23	12/22	12/21	12/20	12/19	12/18	12/17	
																一言日記



12月

日	月	火	水	木	金	土